

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月28日

上場会社名 株式会社 寺岡製作所

上場取引所 東

コード番号 4987 URL <http://www.teraokatape.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺岡 敬之郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 城田 正

TEL 03-3491-1141

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	17,167	△12.9	470	△13.9	524	△3.1	257	335.6
21年3月期第3四半期	19,714	—	546	—	541	—	59	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	12.84	—
21年3月期第3四半期	2.97	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	32,010	23,635	73.8	1,177.04
21年3月期	31,849	23,416	73.5	1,166.13

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 23,635百万円 21年3月期 23,416百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.00	—	3.00	10.00
22年3月期	—	3.00	—		
22年3月期 (予想)				4.00	7.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	△3.5	500	—	600	710.8	300	—	14.94

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 20,081,955株 21年3月期 20,081,955株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 1,890株 21年3月期 1,507株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 20,080,102株 21年3月期第3四半期 20,081,006株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお上記予想に関する事項は、「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内外の在庫調整の進展や新興国の景気回復を背景とした輸出、生産の持ち直しや政府経済対策の効果等により一部においては回復の兆しが見えてきたものの、円高とデフレの同時進行が企業収益の好転を遅らせている状況であり、依然として厳しい状況が続きました。

このような環境下、当社グループは利益の持続的確保を目指し、引き続き積極的な受注活動を行うとともに一層の経営の効率化と諸経費削減に取り組み、原価低減による体質強化に注力してまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、171億67百万円（前年同期比12.9%減）と予想を上回ることができました。連結営業利益は、4億70百万円（前年同期比13.9%減）となり、連結経常利益は5億24百万円（前年同期比3.1%減）、連結当期純利益は2億57百万円（前年同期比335.6%増）といずれも予想を上回る利益を確保しました。

製品部門別の連結売上状況は、以下の通りです。

梱包・包装用テープにつきましては、市況の回復の遅れに加え、国内メーカー及び海外メーカーとの価格競争がより一層激しさを増しており、厳しい受注環境で推移いたしました。売上高は、34億55百万円（前年同期比17.3%減）となりました。

電機・電子用テープにつきましては、薄型テレビ、携帯電話、ゲーム機等のデジタル機器製品用テープが回復基調にあり、自動車部品関連テープ等も需要が上向いてきました。売上高は、88億1百万円（前年同期比10.6%減）となりました。

産業用テープにつきましては、売上は回復傾向にあるものの建築、リフォーム関係は厳しい状況が続きました。売上高は、49億11百万円（前年同期比13.7%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末と比べ0.5%増加し320億10百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べ10.3%増加し166億98百万円となりました。これは、主として売上高の回復に伴う売上債権の増加によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ8.4%減少し153億12百万円となりました。これは、主として減価償却費の計上による償却資産簿価の減少によるものです。

当第3四半期末の負債合計は、前連結会計年度末と比べ0.7%減少し83億75百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べ2.2%増加し59億47百万円となりました。これは、主に仕入債務の増加によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ7.0%減少し24億27百万円となりました。これは、主に長期借入金から1年内長期借入金への振り替えによるものです。

当第3四半期末の純資産合計は、前連結会計年度末と比べ0.9%増加し236億35百万円となりました。これは、主に売上高の回復に伴う利益の増加等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、73.8%（前連結会計年度末73.5%）となりました。

（キャッシュ・フローについて）

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比べ1億76百万円増加し63億4百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、20億11百万円となりました。これは、主に減価償却費等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によって使用した資金は、16億50百万円となりました。これは、主に有形固定資産の取得に伴う設備債務の決済によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によって使用した資金は、1億48百万円となりました。これは、主に配当金の支払いによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成22年1月26日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合は法定実効税率を使用しております。なお、法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,304	6,128
受取手形及び売掛金	6,994	5,279
商品及び製品	677	576
仕掛品	1,405	1,385
原材料及び貯蔵品	1,026	1,228
その他	302	543
貸倒引当金	△12	△10
流動資産合計	16,698	15,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,420	2,055
機械装置及び運搬具（純額）	5,016	3,664
土地	3,784	3,784
建設仮勘定	110	4,116
その他（純額）	254	304
有形固定資産合計	12,585	13,924
無形固定資産	134	198
投資その他の資産		
投資有価証券	2,097	1,899
その他	525	726
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	2,592	2,594
固定資産合計	15,312	16,717
資産合計	32,010	31,849
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,906	3,306
短期借入金	3	35
1年内返済予定の長期借入金	500	125
未払法人税等	203	—
その他	1,334	2,354
流動負債合計	5,947	5,821
固定負債		
長期借入金	2,000	2,375
引当金	237	28
負ののれん	82	101
その他	107	106
固定負債合計	2,427	2,611
負債合計	8,375	8,432

（単位：百万円）

	当第3四半期連結会計期間末 （平成21年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年3月31日）
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,904	3,904
資本剰余金	3,491	3,491
利益剰余金	16,167	16,030
自己株式	△1	△0
株主資本合計	23,562	23,425
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	225	83
為替換算調整勘定	△152	△91
評価・換算差額等合計	73	△8
純資産合計	23,635	23,416
負債純資産合計	32,010	31,849

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	19,714	17,167
売上原価	15,500	12,741
売上総利益	4,213	4,425
販売費及び一般管理費	3,666	3,954
営業利益	546	470
営業外収益		
受取利息	5	0
受取配当金	69	51
負ののれん償却額	23	19
受取補償金	—	26
その他	43	60
営業外収益合計	142	157
営業外費用		
支払利息	4	36
為替差損	91	42
たな卸資産廃棄損	14	—
固定資産除却損	34	20
その他	2	4
営業外費用合計	147	103
経常利益	541	524
特別損失		
投資有価証券評価損	459	42
特別損失合計	459	42
税金等調整前四半期純利益	82	482
法人税等	22	224
四半期純利益	59	257

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	82	482
減価償却費	1,039	1,801
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	1
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	—	209
受取利息及び受取配当金	△75	△52
支払利息	4	36
投資有価証券評価損益 (△は益)	459	42
売上債権の増減額 (△は増加)	542	△1,737
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△221	73
仕入債務の増減額 (△は減少)	△666	614
その他	38	441
小計	1,202	1,910
利息及び配当金の受取額	75	52
利息の支払額	△4	△36
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△454	86
営業活動によるキャッシュ・フロー	818	2,011
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,354	△1,633
無形固定資産の取得による支出	△30	△16
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	—	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,387	△1,650
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△996	△27
長期借入れによる収入	2,500	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△280	△120
その他	△1	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,221	△148
現金及び現金同等物に係る換算差額	△50	△36
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△398	175
現金及び現金同等物の期首残高	6,039	6,128
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	53	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,694	6,304



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. [事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）及び  
前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める粘着テープ事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメントの記載を省略しております。

b. [所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）及び  
前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメントの記載を省略しております。

c. [海外売上高]

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	アジア	北米	欧州	その他	計
海外売上高(百万円)	4,878	129	120	21	5,148
連結売上高(百万円)	—	—	—	—	17,167
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	28.4	0.8	0.7	0.1	30.0

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	アジア	北米	欧州	その他	計
海外売上高(百万円)	5,029	222	191	9	5,451
連結売上高(百万円)	—	—	—	—	19,714
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	25.5	1.1	1.0	0.1	27.7

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。